

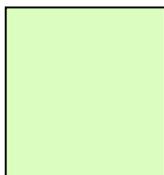
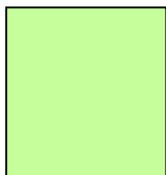
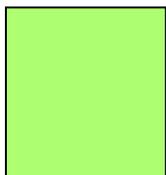
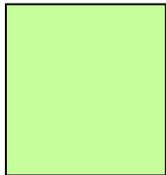
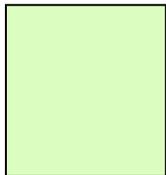
株式会社トーカイスクリーン

2007年度

(2006年12月～2007年7月)

環境活動レポート
(臨時号)

2007年7月17日発行
2007年9月14日改定



株式会社 トーカイスクリン本社・本社工場

環境方針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社のオフィス家具製造及び OEM 販売の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 脱地球温暖化社会のための省エネルギー（含む節水）
 - ② 循環型社会のための省資源、廃棄物の削減
 - ③ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
3. 当社従業員にこの環境方針を周知します。

2006年11月22日制定

2007年9月14日改訂

取締役常務

近藤 毅明

□ 登録事業所の概要

- (1) サイト 株式会社トーカイスクリン本社及び本社工場
愛知県海部郡美和町大字小橋方字寺西 7 9
活動 オフィス家具製造・販売
※東京営業所、福岡営業所、鳥羽工場は 3 年後を目途に対象に含めることを計画中。
- (2) 代表者、環境管理責任者
代表者名：取締役常務 近藤 毅明
環境管理責任者：大塚 幸男
- (3) 事業の規模
製品出荷額 16.7 億円／年
従業員 80 名
本社・本社工場延べ床面積 8910 m²
- (4) 事業年度 2006 年度 1 2 月～2007 年度 1 1 月（今年度取組み期間 1 2 月～6 月）

□ 環境目標とその実績

当工場における環境目標と実績は次のとおりです。

項 目			年 度	2006 年	2007 年		2008 年	2009 年
				(実績)	上段：通年 下段：6 月まで		(目標)	(目標)
二酸化炭素の削減	二酸化炭素	k g -CO ₂	163,887	156,656		152,072	148,784	
				89,698	90,825			
	電力	使用量 (kwh)	348,584	331,155		320,697	313,726	
				190,081	229,757			
ガソリン	使用量 (L)	-	-	-	-	-		
			実績把握	1,713				
省資源	紙の削減	総量 (キログラム／年)	813	772		772	772	
				453.4	477.5			
廃棄物排出量	一般廃棄物 (紙くず)	総量 (キログラム／年)	9,548	8,593		8,593	8,593	
				5,012	4,774			
	産業廃棄物 (木くず)	総量 (キログラム／年)	330,750	327,443		324,135	320,828	
				191,009	169,316			
産業廃棄物 (廃プラ)	総量 (キログラム／年)	27,360	27,086		26,813	26,539		
			15,799	13,500				
総排水量		総量 (m ³ ／年)	2,077	1,973		1,973	1,973	
				986	999			
製品開発・設計の 環境配慮	再生樹脂に 置き換え	総量 (トン／年)	0.000	0.792		1.264	1.580	
				0.462	0			

※総排水量はデータが届いていないため 4 月までの分 (6 月分データは 8 月に水道局より通知)

※事務所の電気使用量は社宅と事務所機能の合計値であるため今回は工場の電気使用量のみ記載

□ 環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>電力の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの温度設定 事務所：冷房 28℃ 暖房 20℃ 工場：冷房 26℃ 暖房 20℃ ・ 不要時の消灯 	<p>目標：190,081kwh 実績：229,757kwh 達成率：82.7%</p>	<p>工場の稼働時間の増加が未達成の原因と考えられるため、今後、稼働時間との相関関係を調査し、設備の運転の効率化にも取り組んでゆく。 工場事務所と食堂の、不在時のエアコンの OFF は今後さらに徹底していく必要がある。</p>
<p>ガソリンの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ ・ 急加速の抑制 ・ 冷暖房の控えめ使用 	<p>目標：実績把握 実績：1,713L 達成率：－</p>	<p>2006 年度の正確なデータが把握できなかったため、2007 年度はデータ把握と目標策定を行うことにした。 ガソリン使用量と走行距離の情報が把握できてきたので、今後、目標を設定して取り組んでゆく。</p>
<p>紙の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミスプリントの防止 ・ 裏紙の使用 	<p>目標：453.4kg 実績：477.5kg 達成率：95%</p>	<p>紙を削減していきたいという趣旨は事務員すべてに周知されミスプリントの防止・裏紙の使用は実行されているが実績はついてこなかった。 しかし売上の増加分を加味してみると妥当な結果ではないかと考える。</p>
<p>一般廃棄物の削減（紙くず）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理業者とのリサイクル化への交渉と研究 	<p>目標：5,012kg 実績：4,774 達成率：105%</p>	<p>現在はまだ実行できていない。廃棄物処理業者と打ち合わせを行いたい。</p>
<p>産業廃棄物の削減（木くず）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り都合の見直し 	<p>目標：191,009kg 実績：169,316kg 達成率：112.8%</p>	<p>現在、コストはかかっているがベニヤ板のカットサイズでの一部購入は行っている。しかし生産量の増加による原因によるものと考えられるが結果は良いものといえなかった。今後は不良品の削減に努めて生きたいと考える。</p>
<p>産業廃棄物の削減（廃プラ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 包装資材のスリム化 	<p>目標：15,799kg 実績：13,500kg 達成率：117%</p>	<p>梱包資材のスリム化以外にもっと減らすポイント検討していきたい。</p>
<p>節水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の呼びかけ ・ 節水コマの取り付け 	<p>目標：986 m³ 実績：999 達成率：98.7%</p>	<p>具体的に節水コマの取り付けを完了させたい。</p>
<p>製品開発・設計の環境配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生資源の利用 (再生樹脂の利用) 	<p>目標：0.462 t 実績：0 達成率：0%</p>	<p>現在、新製品開発で新しい金型をおこなすタイミングがないのは承知しているが、金型が発生する際には必ず再生材の使用を20%から30%使用していきたい。</p>
<p>【取り組みの総括】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体的にいえことではあるが、始めたばかりということで、全体への周知と具体的な実行を強化していきたい。 2. EA21 の導入を通じて、経営システムの骨格の改善を行ったと同時に、今後は、品質面や労働安全衛生面の業務改善活動のシステムへと応用させていきたい。 3. また、3 年前に認定したエコマーク商品の展示パネルは、当社の環境コミュニケーションボードとして活用するだけでなく、広く市場に販売促進していく活動を行っていきたい。 		

□ エコマーク認定商品の展示パネルについて

2005年にエコマークの認定をうけた展示パネルは、現在社内ではコミュニケーションボードとして、いろいろな活動情報の掲示板として利用しています。



□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	〃
廃棄物処理法	木くず、廃プラ、焼却炉
消防法	火災報知機、消防設備
浄化槽法	トイレの浄化槽
フロン回収法	エアドライヤー、スポットクーラー、パッケージエアコン
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン、洗濯機、テレビ

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって関係当局よりの違反等の指摘もありませんでした。

以上